



2021年5月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月14日

上場会社名 三光合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 7888 URL <http://www.sankogosei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 健宗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 芹川 明

TEL 0763-52-7105

定時株主総会開催予定日 2021年8月26日

配当支払開始予定日

2021年8月27日

有価証券報告書提出予定日 2021年8月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家、アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期の連結業績(2020年6月1日～2021年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	55,145	8.7	2,411	247.2	1,951	878.6	1,302	—
2020年5月期	50,716	8.0	694	69.2	199	90.3	406	—

(注) 包括利益 2021年5月期 2,281百万円 (—%) 2020年5月期 974百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年5月期	42.72	—	6.8	3.7	4.4
2020年5月期	13.32	—	2.2	0.4	1.4

(参考) 持分法投資損益 2021年5月期 ー百万円 2020年5月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	56,633	20,649	35.8	665.56
2020年5月期	48,107	18,551	37.8	596.67

(参考) 自己資本 2021年5月期 20,289百万円 2020年5月期 18,189百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年5月期	3,530	3,338	102	8,079
2020年5月期	1,608	2,747	1,695	7,499

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年5月期	—	7.00	—	2.00	9.00	274	—	1.5
2021年5月期	—	4.00	—	7.00	11.00	337	25.7	1.7
2022年5月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00		23.7	

3. 2022年5月期の連結業績予想(2021年6月1日～2022年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	8.8	2,900	20.3	2,700	38.4	1,800	38.2	59.05

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数

2021年5月期	30,688,569 株	2020年5月期	30,688,569 株
2021年5月期	204,696 株	2020年5月期	204,637 株
2021年5月期	30,483,924 株	2020年5月期	30,483,934 株

(参考)個別業績の概要

2021年5月期の個別業績(2020年6月1日～2021年5月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	22,753	1.4	786	90.8	1,091	23.2	742	9.1
2020年5月期	22,433	2.3	411	49.3	885	40.9	680	38.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期	24.35	—
2020年5月期	22.31	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	37,972	18,388	48.4	603.22
2020年5月期	33,965	17,827	52.5	584.83

(参考) 自己資本 2021年5月期 18,388百万円 2020年5月期 17,827百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
(その他)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、社会・経済活動が大きく制限され、厳しい状況となりました。海外におきましては、中国では緩やかな景気の回復も見られるものの、欧米ではワクチンの接種により経済活動の再開の動きがありましたが、新型コロナウイルスの変異株出現等による感染拡大、米中貿易の影響や半導体などの部材の供給不足及びコンテナ不足による物流の停滞等の不透明要因も多く、先行きは依然厳しい状況が続いております。

この様な状況のもと、当社グループにおきましては、前連結会計年度に引き続き、付加価値の高い製品の受注と生産体制の整備を強化し、原価低減活動を積極的に進めてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は55,145百万円（前期比8.7%増）となり、利益面におきましては、営業利益は2,411百万円（前期比247.2%増）、経常利益は1,951百万円（前期比878.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,302百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失406百万円）となりました。

当社グループの事業部門別売上高

事業部門別	2020年5月期		2021年5月期		増 減	
	百万円	構成比	百万円	構成比	百万円	増減率
情報・通信機器	6,544	12.9	5,961	10.8	△582	△8.9
車両	29,384	57.9	33,414	60.6	4,030	13.7
家電その他	3,881	7.7	4,355	7.9	473	12.2
成形品計	39,810	78.5	43,731	79.3	3,921	9.8
金型	10,905	21.5	11,413	20.7	507	4.7
合計	50,716	100.0	55,145	100.0	4,428	8.7

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

車両用内外装部品は増収となりましたが、情報・通信機器部品及び金型は減収となり、売上高は23,345百万円（前期比4.5%減）、セグメント利益は1,521百万円（前期比79.8%増）となりました。

② 欧州

車両用内外装部品及び金型の受注増加により、売上高は6,389百万円（前期比29.9%増）、セグメント利益は582百万円（前期比87.8%増）となりました。

③ アジア

車両用内外装部品、家電部品及び金型の増収により、売上高は18,516百万円（前期比22.3%増）となり、セグメント利益は655百万円（前期比292.7%増）となりました。

④ 北米

車両用内外装部品及び金型の増収により、売上高は6,893百万円（前期比10.8%増）となり、セグメント利益は295百万円（前期はセグメント損失25百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、56,633百万円（前期末比8,525百万円増）となりました。これは、受取手形及び売掛金が3,462百万円、たな卸資産が2,254百万円及び有形固定資産が2,784百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末の負債合計は、35,983百万円（前期末比6,427百万円増）となりました。これは、支払手形及び買掛金が2,590百万円、短期借入金が3,840百万円増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末の純資産合計は、20,649百万円（前期末比2,098百万円増）となりました。これは、利益剰余金が1,119百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は8,079百万円となり、前連結会計年度末より580百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は3,530百万円（前期比119.5%増）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益1,986百万円及び減価償却費3,060百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,338百万円（前期比21.5%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2,671百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は102百万円（前期は獲得した資金1,695百万円）となりました。これは主に短期借入金の増加額3,772百万円、長期借入金の返済による支出2,628百万円によるものであります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期
自己資本比率（％）	36.0	40.5	37.9	35.8
時価ベースの自己資本比率（％）	31.5	20.5	20.2	22.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（％）	3.6	4.5	11.1	5.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	15.0	13.2	4.8	8.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

（注2）株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

（注4）有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明であり、また米中問題等の影響により、引き続き予断を許さない状況が続くと思われます。

このような状況下、当社グループとしましては、より付加価値の高い製品や金型の受注活動を積極的に行うとともに、安定した収益構造の確保と経営体質の強化を図る所存であります。

以上の状況により、2022年5月期は連結売上高60,000百万円、営業利益2,900百万円、経常利益2,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,800百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,499	8,079
受取手形及び売掛金	10,352	13,814
商品及び製品	1,326	1,716
仕掛品	2,485	4,096
原材料及び貯蔵品	848	1,102
その他	2,048	1,648
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,560	30,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,708	20,289
減価償却累計額	△11,361	△12,151
建物及び構築物（純額）	7,346	8,137
機械装置及び運搬具	27,349	29,726
減価償却累計額	△18,876	△20,998
機械装置及び運搬具（純額）	8,473	8,728
工具、器具及び備品	8,409	9,311
減価償却累計額	△7,081	△7,800
工具、器具及び備品（純額）	1,328	1,510
土地	4,645	5,139
建設仮勘定	574	1,637
有形固定資産合計	22,368	25,152
無形固定資産		
のれん	149	123
その他	395	374
無形固定資産合計	544	497
投資その他の資産		
投資有価証券	15	18
繰延税金資産	418	328
その他	200	178
投資その他の資産合計	634	525
固定資産合計	23,547	26,176
資産合計	48,107	56,633

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,808	7,398
電子記録債務	2,521	2,589
短期借入金	1,979	5,820
1年内返済予定の長期借入金	2,695	1,984
1年内償還予定の社債	150	75
リース債務	777	1,062
未払法人税等	81	447
賞与引当金	114	176
役員賞与引当金	—	44
その他	2,644	3,883
流動負債合計	15,771	23,481
固定負債		
社債	75	—
長期借入金	9,405	7,577
リース債務	2,802	3,556
繰延税金負債	70	44
役員退職慰労引当金	23	23
退職給付に係る負債	1,007	865
その他	400	434
固定負債合計	13,784	12,501
負債合計	29,556	35,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,008	4,008
資本剰余金	4,087	4,071
利益剰余金	12,225	13,344
自己株式	△43	△43
株主資本合計	20,278	21,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△2
為替換算調整勘定	△1,669	△810
退職給付に係る調整累計額	△414	△278
その他の包括利益累計額合計	△2,088	△1,092
非支配株主持分	362	360
純資産合計	18,551	20,649
負債純資産合計	48,107	56,633

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
売上高	50,716	55,145
売上原価	43,901	46,372
売上総利益	6,815	8,772
販売費及び一般管理費	6,120	6,361
営業利益	694	2,411
営業外収益		
受取利息	20	17
受取配当金	1	1
受取賃貸料	66	68
雇用調整助成金	117	127
助成金収入	—	189
その他	60	78
営業外収益合計	265	482
営業外費用		
支払利息	337	397
為替差損	94	370
デリバティブ損失	165	102
その他	163	72
営業外費用合計	761	942
経常利益	199	1,951
特別利益		
固定資産売却益	5	3
国庫補助金	39	185
負ののれん発生益	—	25
その他	—	1
特別利益合計	44	215
特別損失		
固定資産売却損	7	4
固定資産除却損	91	70
固定資産圧縮損	39	85
操業休止関連費用	383	—
特別退職金	25	20
特別損失合計	547	180
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△302	1,986
法人税、住民税及び事業税	251	743
法人税等調整額	△24	△21
法人税等合計	227	722
当期純利益又は当期純損失(△)	△530	1,264
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△124	△38
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△406	1,302

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△530	1,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
為替換算調整勘定	△354	878
退職給付に係る調整額	△89	136
その他の包括利益合計	△444	1,016
包括利益	△974	2,281
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△829	2,298
非支配株主に係る包括利益	△144	△17

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,008	4,087	13,081	△43	21,134
会計方針の変更による累積的影響額			△23		△23
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,008	4,087	13,057	△43	21,111
当期変動額					
剰余金の配当			△426		△426
親会社株主に帰属する当期純利益			△406		△406
連結子会社の増資による持分の増減					
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△832	△0	△832
当期末残高	4,008	4,087	12,225	△43	20,278

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△4	△1,335	△325	△1,665	516	19,985
会計方針の変更による累積的影響額					△9	△32
会計方針の変更を反映した当期首残高	△4	△1,335	△325	△1,665	507	19,952
当期変動額						
剰余金の配当						△426
親会社株主に帰属する当期純利益						△406
連結子会社の増資による持分の増減						
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0	△334	△89	△423	△144	△568
当期変動額合計	0	△334	△89	△423	△144	△1,401
当期末残高	△4	△1,669	△414	△2,088	362	18,551

当連結会計年度（自 2020年6月1日 至 2021年5月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,008	4,087	12,225	△43	20,278
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,008	4,087	12,225	△43	20,278
当期変動額					
剰余金の配当			△182		△182
親会社株主に帰属する当期純利益			1,302		1,302
連結子会社の増資による持分の増減		△16			△16
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△16	1,119	△0	1,103
当期末残高	4,008	4,071	13,344	△43	21,381

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△4	△1,669	△414	△2,088	362	18,551
会計方針の変更による累積的影響額						—
会計方針の変更を反映した当期首残高	△4	△1,669	△414	△2,088	362	18,551
当期変動額						
剰余金の配当						△182
親会社株主に帰属する当期純利益						1,302
連結子会社の増資による持分の増減						△16
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1	858	136	996	△1	994
当期変動額合計	1	858	136	996	△1	2,098
当期末残高	△2	△810	△278	△1,092	360	20,649

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△302	1,986
減価償却費	2,960	3,060
のれん償却額	24	28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1	95
受取利息及び受取配当金	△21	△18
支払利息	337	397
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1
有形固定資産売却益	△5	△3
有形固定資産売却損	7	4
有形固定資産除却損	91	70
デリバティブ評価損益(△は益)	165	102
特別退職金	25	20
助成金収入	—	△189
負ののれん発生益	—	△25
売上債権の増減額(△は増加)	1,958	△2,966
たな卸資産の増減額(△は増加)	△705	△2,095
その他の資産の増減額(△は増加)	△198	475
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,599	2,302
その他の負債の増減額(△は減少)	△284	1,296
その他	△36	△207
小計	2,417	4,333
利息及び配当金の受取額	21	18
利息の支払額	△346	△375
法人税等の支払額	△458	△425
特別退職金の支払額	△25	△20
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,608	3,530
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△0
投資有価証券の売却による収入	—	1
有形固定資産の取得による支出	△2,643	△2,671
有形固定資産の売却による収入	12	9
事業譲受による支出	—	△600
その他	△115	△76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,747	△3,338

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△385	3,772
長期借入金の借入れによる収入	6,271	—
長期借入金の返済による支出	△2,800	△2,628
社債の償還による支出	△150	△150
リース債務の返済による支出	△812	△912
配当金の支払額	△426	△182
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,695	△102
現金及び現金同等物に係る換算差額	△117	490
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	439	580
現金及び現金同等物の期首残高	7,059	7,499
現金及び現金同等物の期末残高	7,499	8,079

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、国内外において車両分野、情報・通信機器分野及び家電その他分野向けにプラスチック製品並びにプラスチック成形用金型の製造販売を主要な目的として、事業活動を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。各々の現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別セグメントから構成されており、「日本」、「欧州」、「アジア」及び「北米」の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,436	4,920	15,136	6,223	50,716	—	50,716
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,467	17	1,037	7	3,528	△3,528	—
計	26,903	4,937	16,173	6,231	54,245	△3,528	50,716
セグメント利益	846	310	166	△25	1,297	△603	694
セグメント資産	22,836	5,504	14,384	4,982	47,708	399	48,107
その他の項目							
減価償却費	1,156	205	1,060	254	2,676	84	2,761
のれん償却額	—	—	—	24	24	—	24
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	2,016	443	1,949	107	4,517	26	4,543

(注) 1. 調整額は、次のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△603百万円は、セグメント間取引消去△20百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△582百万円であります。
- (2) セグメント資産の調整額399百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額84百万円は、提出会社の管理部門に係る固定資産減価償却費84百万円であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額26百万円は、提出会社の管理部門に係る有形固定資産及び無形固定資産の増加額26百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2020年6月1日 至 2021年5月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,345	6,389	18,516	6,893	55,145	—	55,145
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,367	1	1,343	10	4,722	△4,722	—
計	26,712	6,390	19,860	6,903	59,867	△4,722	55,145
セグメント利益	1,521	582	655	295	3,054	△643	2,411
セグメント資産	22,403	8,633	17,817	5,674	54,529	2,103	56,633
その他の項目							
減価償却費	1,250	243	1,155	316	2,966	68	3,034
のれん償却額	—	—	—	28	28	—	28
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	2,707	1,069	1,129	221	5,128	25	5,153

(注) 1. 調整額は、次のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△643百万円は、セグメント間取引消去8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△651百万円であります。
- (2) セグメント資産の調整額2,103百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額68百万円は、提出会社の管理部門に係る固定資産減価償却費68百万円であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額25百万円は、提出会社の管理部門に係る有形固定資産及び無形固定資産の増加額25百万円であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	成形品	金型	合計
外部顧客への売上高	39,810	10,905	50,716

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	アジア	北米	合計
23,166	5,505	15,252	6,792	50,716

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. アジアのうち、タイは5,162百万円であります。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	欧州	アジア	北米	合計
9,790	1,360	8,219	2,997	22,368

(注) アジアのうち、タイは3,154百万円であります。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年6月1日 至 2021年5月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	成形品	金型	合計
外部顧客への売上高	43,731	11,413	55,145

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	アジア	北米	合計
22,300	6,742	18,842	7,259	55,145

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	欧州	アジア	北米	合計
10,383	3,197	8,604	2,967	25,152

(注) アジアのうち、タイは3,093百万円であります。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年6月1日 至 2021年5月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

のれんの償却額及び未償却残高の情報

(単位：百万円)

	日本	欧州	アジア	北米	計	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	24	24	—	24
当期末残高	—	—	—	149	149	—	149

当連結会計年度（自 2020年6月1日 至 2021年5月31日）

のれんの償却額及び未償却残高の情報

(単位：百万円)

	日本	欧州	アジア	北米	計	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	28	28	—	28
当期末残高	—	—	—	123	123	—	123

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年6月1日 至 2021年5月31日）

当連結会計年度において、日本において負ののれん発生益25百万円を計上しております。これは、HMヤマト(株)より事業譲受を行い、受け入れた資産の純額が鑑定評価額を下回ったため、その差額を負ののれん発生益として処理しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり純資産額	596.67円	665.56円
1株当たり当期純利益又は1株当たり 当期純損失(△)	△13.32円	42.72円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株 主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△406	1,302
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△406	1,302
期中平均株式数 (株)	30,483,934	30,483,924

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	18,551	20,649
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	362	360
(うち非支配株主持分 (百万円))	(362)	(360)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	18,189	20,289
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普 通株式の数 (株)	30,483,932	30,483,873

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

6. その他

役員の異動(2021年8月26日 第88回定時株主総会)

取締役の異動

新任取締役 柴田与志明 (現上級執行役員SANKO GOSEI UK LTD. 社長 兼 SET EUROPE LTD. 社長 兼 欧州統括 兼 SANKO GOSEI Czech, s. r. o. 社長)

新任取締役 (社外) フランセス コーザ (現成城大学文芸学部専任講師)

退任取締役 柴田達夫 (現取締役専務執行役員クリエイティブビジネスユニット長兼営業部門長)

監査役の異動

新任監査役 西村源信 (現執行役員総務部長)

退任監査役 鷲塚 修 (現常勤監査役)

以上